

令和元年 10 月 16 日（水曜日）

広島市（広島県）

○市の概要（令和元年 9 月 30 日現在）

- 面積：906.68 k m²
- 人口：1,195,960 人 ●世帯数：568,931 世帯
- 令和元年度一般会計予算：6,700 億円 5,000 万円



<市章>

広島市は、広島県の県庁所在地であり全国 20 ある政令指定都市の一つで中国・四国地方で最大の人口を有している。市内には 6 本の川が流れていることから水の都とも呼ばれる。

戦国時代には、毛利家が太田川デルタを干拓して築城を開始したのを契機に地域の中心部が太田川デルタへ移り、都市としての発展が始まり、江戸期には、浅野家の城下町として広島藩 42 万石の城下町として藩主浅野氏のもとで発展した。

明治時代になると、6 本の川が流れる好立地から陸海軍の拠点が集中する軍事都市として発展した。

昭和 20 年 8 月 6 日、米軍の爆撃機によって広島市中心部上空に原子爆弾が投下され、「75 年間は草木も生えぬ」とまで言われたが、戦後は重工業や自動車産業を中心に復興し、現在では日本の主要な工業都市の一つとなっている。

◆視察内容

<市立中央図書館におけるレファレンス機能充実の取り組みについて>

【施設の概要】

市内 13 カ所ある市立図書館の中央館として、映像文化ライブラリーを併設している。資料の収集・保存のほか、閲覧、貸出サービス、専門資料やインターネットを使っての調査相談（レファレンスサービス）、ビジネス相談会やセミナーなどのビジネス支援を行っている。また、地域資料（広島に関する郷土資料、行政資料）を収集している。広島資料室や闘病記コーナー、多文化サービスコーナーのほか、年間を通して図書に関わる企画展示を 2 階の展示ホールで行っている。



- 開設年月：昭和 49 年 10 月
- 建築構造：鉄筋コンクリート及び鉄骨造 地下 1 階・地上 3 階
- 面積：敷地面積 3171 m² 延床面積：7965 m²
- 建設費：7 億 2 千万円（開館時）
- 複合施設：広島市映像文化ライブラリー
- 施設内容：
 - 【地下】 書庫
 - 【1 階】 自動車図書館、自習室、対面朗読室、国連寄託図書室、書庫、喫茶・食堂
 - 【2 階】 自由閲覧室 A 室・B 室、新聞雑誌閲覧室、展示ホール、事務室、書庫
 - 【3 階】 参考閲覧室、広島資料室、広島文学資料室、浅野文庫、セミナー室、書庫
- 管理運営
 - ①指定管理者 公益財団法人広島市文化財団
 - ②職員数：38 人（内、司書 32 名）
- 蔵所冊数等（平成 30 年度末）
 - ①蔵所冊数 1,105,161 冊（市立図書館全館 2,184,749 冊）
 - ・館内用図書 839,217 冊
 - 一般書 839,217 冊
 - ・自動車図書館用図書 265,944 冊
 - 一般書 140,663 冊
 - 児童書 125,281 冊
 - ②開架冊数 167,290 冊（市立図書館全体 1,054,591 冊）

○利用状況と貸出冊数

平成 26 年度	491,517 人	494,991 冊
平成 27 年度	465,004 人	688,817 冊
平成 28 年度	442,788 人	680,730 冊
平成 29 年度	423,531 人	648,542 冊
平成 30 年度	397,031 人	616,842 冊



【主な事業】

- ① 図書の収集・保存等
 - ・地域資料の収集・保存、
 - ・郷土資料、原爆、平和に関する資料の収集・保存・提供
 - ・広島にゆかりのある児童文学作家の図書、絵本の収集、保存、提供
- ② 児童文化関係資料の収集・保存
 - ・児童文学等、児童文化関係の調査、研究資料の収集・保存・提供
- ③ ベルコレクション
 - ・アメリカから寄贈された洋書の保存・提供
- ④ 地域の課題に対応したサービス
 - ・子育て支援の充実
 - 家庭における子どもの読書活動推進のための資料・情報の提供と事業の実施
 - ・おひざにだっこのえほんコーナーの充実
 - 0～2歳児向け絵本等の収集・提供。おはなし会の開催
 - ・家庭読書アドバイザー派遣事業
 - 幼稚園等との連携による家庭読書アドバイザーの後援会の開催
 - ・多文化サービスの充実
 - 中国語、韓国語朝鮮語、英語等外国語資料の収集・提供、
多文化理解事業の開催
- ⑤ 利用者に対応したサービス
 - ・児童サービスの充実
 - おはなし会、講演会、企画展示等読書普及事業の開催、推薦図書リストの作成・配布
 - ・レファレンス業務の充実
 - 図書館資料等を用いた調査・研究の支援
 - ・障害者サービスの充実
 - 対面朗読、図書郵送貸出、録音図書の郵送貸出
- ⑥ 市民参加
 - ・ボランティア活動等の促進
 - ボランティアの養成と活動機会等の提供
 - おはなし会ボランティア、家庭読書アドバイザー
 - 中学生・高校生ボランティア（ブラリーサポーターズ）
- ⑦ 学校等との連携事業

- ・ 学校関連事業
 - 小・中学校における読書活動推進のための連携・支援事業の実施
- ・ 幼稚園・保育園関連授業
 - 幼稚園等における読書活動推進のための連携・支援事業の実施
- ・ 保健センター連携事業
 - 保健センターにおける読み聞かせのための連携・支援事業の実施
- ・ 民間連携
 - 商業施設等でのおはなし会の開催

【図書館の特徴】

○特別コレクション

浅野文庫寄贈資料として、旧広島藩主浅野家から寄贈を受けた和漢の古書・図記類、等、約1万点を所蔵し、広島城下の様子を伝える城下絵図や「諸国古城の図」、「西遊記」などを所蔵する。



○主に地域資料に関連した取り組み

①被爆体験継承事業

毎年夏に、「学徒動員」や「被爆建造物」、「広島と長崎の被爆」、等の企画展を行う。

②デジタルアーカイブ

三重吉、原民喜など広島文学資料室の作家などをホームページ等で詳しく紹介

③広島ゆかりの人物情報

ホームページ上で政治、文化、科学、スポーツ、平和、等、分野ごとに紹介

④メールレファレンス

広島に関することについての調査は、Eメールで回答している。

- ⑤地域図書では、広島歴史、広島文学、被爆に関する文献、郷土について、広島三大プロ（広島交響楽団、サンフレッチェ広島、広島東洋カープ）、防災情報、地域の情報、等を紹介している。



【レファレンス機能充実の取り組み】

レファレンス機能とは、図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのもの、あるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによって利用者を助ける業務のことである。

中央図書館は、主に図書の収集・保存等、地域の課題に対応したサービス、利用者に対応したサービス（レファレンス業務）、市民参加ボランティア活動等の促進、学校・民間との連携事業を行う。

平成17年、図書館の機能を活かし市民の課題解決を支援するため、当時の市長の意向で「ビジネス支援情報コーナー」を中央図書館内に設置し、起業支援を開始した。この事業は、広島市の産業支援機関と連携して、起業に関わる情報から、マーケティング調査や法律、税金のことまで、幅広くビジネスのサポートを行っており、ビジネス図書館推進協議会の講習を終えたビジネス支援担当司書3名を配置している。

ビジネス支援情報コーナーでは一般の書店には並ばない様々な統計資料、専門書、地域経済統計などの商用データベースを活用することができ、担当司書が情報収集の支援をしている。平成19年からは月1回ビジネス相談会を開催、中小企業診断士などの助言を無料で受けられるほか、担当司書が同席し、関連資料や情報の提供を行っている。

また、関係支援機関と連携して、起業のための基礎知識を学べるセミナーなどを開催するほか、次世代へのビジネス支援として、高校生ビジネスプラン作成講座にも力を入れている。



**第7回創造力、無限大～高校生ビジネスプラン・グランプリ
高校生ビジネスプラン作成講座**

広島県立中央図書館では、「第7回創造力、無限大～高校生ビジネスプラン・グランプリ」(主催：日本政策金融公庫)の開催に合わせて、今年度11月高校生ビジネスプラン作成講座を開催します。中・高生がビジネスプラン作成のノウハウを学ぶ機会を創出しています！！

【会 場】広島県立中央図書館3階セミナー室
【対 象】広島県およびその近隣の高校生 さらなるフォローアップは個人
【定 員】15組(先着順) 参加費は無料！！

講座・料金	11月11日(土) 11:30～12:30 高校生向け 7,430円(税込)
高校生向け	11月12日(日) 10:00～12:00 高校生向け 8,420円(税込)

申込方法、募集をご覧ください。

【主催】広島県立中央図書館、日本政策金融公庫
【協賛】広島県立中央図書館、日本政策金融公庫

Point 1 広島県立中央図書館の蔵書に、豊富なビジネス関連資料が揃っています。また、本講座では、ビジネスプラン作成のノウハウを学ぶことができます。また、講師からアドバイスを受けることができます。

Point 2 広島県立中央図書館の蔵書に、豊富なビジネス関連資料が揃っています。また、本講座では、ビジネスプラン作成のノウハウを学ぶことができます。また、講師からアドバイスを受けることができます。

Point 3 広島県立中央図書館の蔵書に、豊富なビジネス関連資料が揃っています。また、本講座では、ビジネスプラン作成のノウハウを学ぶことができます。また、講師からアドバイスを受けることができます。

【共催】広島県立中央図書館 日本政策金融公庫

【所感】

広島市立中央図書館は、みどり豊かな広々とした空間の中であり、40年以上も経過している古い施設にも関わらず、一階の学習室はほぼ満席状態とのことで、施設全体から利用者数の多さが目に留まり、市民に古くから親しまれている場所であることがわかる。

みどり豊かな落ち着いた環境のなかで、手軽に学び、調べ、相談でき、素早く、簡単に、利用者のニーズに合った情報や細やかな計画的なサービスを地元企業などと連携して行っていた。

杉並区は、有識者も多く、多種多様な企業が多い。また、中央省庁にも近いという地理的利点などを活かした、ビジネス支援事業などを図書館の事業で行うことは有意義であると感じ、どんな事業にしても地元企業や各団体、地域住民と連携して行うことは重要なことであると感じた視察であった。



杉並区議会文教委員会 行政視察 広島市立中央図書館 令和元年 10月 16日